

純心だより

6月

もう日本中梅雨の季節になりました。紫陽花が雨に濡れて綺麗です。あちこちで田植えも始まり、田舎に住めばこそその風情があります。農家の方は大変でしょうが、生き生きと働いておられます。そうそう、保育園や子ども園の子ども達も、さつまいもの茎を刺し終えました。秋には金色の稲穂が垂れ、真っ赤な大きなさつまいもが取れることでしょう！

私は、今月74歳になりました。どうやってこの歳まで来たのだろうかと思ひ返してみますが、あつという間だったことだけは確かです。私が生まれた時、とても嬉しかったといつも言ってくれた母が亡くなった歳にも近づいてきました。私の母は、50歳過ぎに認知症になりました。正常圧性水頭症ということで、2回も手術を受けましたが、よくなりませんでした。それから20年近く、段々と症状が進み、最後の10年くらいは寝たきりでした。ずっと、ああしてあげればよかった、こうしてあげればよかったと思わない日は無く、今まで過ごして来ました。その思いを今、私たちの施設をご利用してくださっている皆さまにと思えばかりですが、なかなか何もして差し上げることができません。でも少しでも少しでも、スタッフがご利用者さまのお気持ちを汲み取り、後悔のない介護をしてくれるよう、環境だけは整えなければといつも追い立てられているような気持ちです。

もう、コロナもそろそろ収束することと思います。スタッフは自立支援介護に取り組み、ご利用者様がご家族様と面会し、リハビリに精を出し、施設が活気あふれるのももうすぐのことと思います。各地域の動向を見ながら制限つき面会を始めて、防御しながらもご家族の皆様にも施設において頂きたいと思えます。そして、しばらく雨の風情を楽しみましょう。

前田計子



ハートフル若林の落成式を開催致しました!!

このたび、純心会グループにとつては東京都内で2ヶ所目の施設となる、地域密着型特別養護老人ホーム・グループホーム・小規模多機能ホーム併設事業所「ハートフル若林」を、東京都世田谷区若林に、令和4年6月1日にオープンいたしました。

オープンに先駆け5月29日には、「落成式」を開催させていただきました。コロナ禍ということもあり、盛大にというわけにはいきませんでした。地域の皆様や世田谷区長をはじめ関係者の皆様をお招きして、施設を見学をしていただきました。

当日は、初夏を思わせるような陽気の中、3階のテラスからは山頂に雪を頂いた富士山を望むことが出来ました。「ハートフル若林」も富士山のように地域の皆様にとって、あつて当たり前と思っていただけるよう地域に根差した施設になるよう精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。





ハートフル若林が開設いたしました!!

令和4年6月1日、東京都世田谷区若林に、地域密着型特別養護老人ホーム・グループホーム・小規模多機能ホーム併設事業所「ハートフル若林」を開設いたしました。

ハートフル若林は、吉田松陰を祀る神社で有名な松陰神社近く、世田谷区立教育総合センター隣に位置します。世田谷区若林は、世田谷区のほぼ中心にある町で、レトロな若林中央商店街や若林稲毛神社、若林天満宮(若林天神・北野神社)など学問のご利益がある神社がある歴史と文化の街です。交通の便もよく、緑も多く、のんびりとした住宅街です。職員の中には、複数の若林小学校の卒業生も在籍し、心強い限りです。

設計は、東京オリンピックのメイン会場である新国立競技場を手掛けた隈研吾先生です。隈研吾先生は、木材を使うなど「和」をイメージしたデザインが特徴的で、「和の大家」とも称されています。

ハートフル若林は、「緑に囲まれた癒しの施設」をコンセプトに、施設2階3階のテラスにはプランターを設置し、建物全体を緑のカーテックで覆いました。大きな窓から入り込む自然の光の中でゆったりとおくつろぎください。エントランスは大和張りで、温かみのある照明のエントランスで皆様をお迎えます。またエントランスや廊下では、散歩



をしながら絵画や花を楽しんで頂けます。地域交流スペースでは、イベントや面会の場としてだけでなく、高齢者や地域にお住まいの方が参加する「共生型」のコミュニティづくりを目指します。



岡山純心会 六月の予定とお知らせ

- 和菓子の日 七日
- 誕生日会 二十二日
- 全施設 全施設

